

くしろ 市議会だより



【花時計】 石谷 真子さん(景雲中2年)

議会日程

2/21
議会運営委員会

2月定例会 (会期24日間)

2/27
市政方針
教育行政方針
提案説明
3/5～7
各会派代表質問
3/8～12
質疑・一般質問
3/12～20
委員会審査
3/14
委員長報告
本会議採決
(補正予算の先議分)
3/22
委員長報告
討論
本会議採決

賛否の討論

予算案などの採決にあたり、2
会派が賛否の討論を行いました。
要旨は次のとおりです。

○日本共産党議員団反対要旨

市の財政が厳しい状態にあるのは、地方交付税と市税の減収が大きき要因であり、過去の過大投資のつげが財政を圧迫している。今後、地方債残高の総額を減らしていく方向に転換すべきであり、鉄道高架や西港開発などの大型公共事業はやめるべきである。工賃確保対策事業として障がい者の負担を軽減する独自制度を導入したところなどは評価できるが、一方では、税制改正による市民の負担増に対し軽減策を行わず、逆に利用料・使用料などの値上げや、生活保護受給世帯にも一部負担を求めることは生存権を侵すことにつながる。また、街路灯の間引きは安全安心のまちづくりと逆行しており、新年度予算は、市民の苦しみを軽減

○音別会賛成要旨

し財政再建の道を示すものになっていない。以上の理由により反対する。

新年度予算は、厳しい財政運営を余儀なくされる中で、地域経済を振興する施策や市民の安全を守る事業が確実に盛り込まれた内容である。企業会計の財政健全化対策として、一般会計からの繰出金の増額や(株)釧路振興公社に対する経営健全化の措置も行っており、湖畔小や阿寒中の改築、阿寒湖温泉多目的施設の建設着工など、地域住民の一体感の醸成にも配慮し、合併特例債等の有利な起債を充当するなど、財政の健全化にも意を用いている。観光や産業の振興にも重きを置き、また、障がい者にも配慮し、市独自策の工賃確保対策事業や相談体制の拡充、介護・高齢者福祉では地域ケア体制の充実、子育て支援では育児支援家庭訪問事業の拡充など、誰もが安心して暮らせる予算措置となっている。以上の理由により賛成する。

合併後の在任特別期間で最後となった2月定例会では、新年度各会計予算、集中改革プランによる使用料・手数料等の見直しに伴う関係条例の一部を改正する条例などを原案どおり可決し、特別職人事の選任なども同意しました。
本会議及び委員会では、財政再建問題、駅周辺再整備事業、釧路根室圏総合体育館などについて論議がありました。

日本共産党議員団 梅津 則行 議員

ほほえみ学級の今後の方向性として特別支援学校との連携や分校化を要請

- 問 寿小のほほえみ学級は看護師配置や専門教員確保ができず問題がある。今後の方向性を聞きたい。
- 答 障がい種別を超えた特別支援学校との連携や、分校化などを道に働きかけたい。
- 問 釧路産炭地域総合発展基金を太平洋グループから借り上げている土地取得に活用するとのことだが、原則無償譲渡の方針は撤回するのか。
- 答 太平洋グループとは基本スタンスに大きな隔りがある。他市で資産を有償取得した例もあり、この機会に基金を活用して土地を取得したい。



借り上げている土地に建つ桜が丘小学校

- 問 個人の木造住宅の耐震改修に助成制度を検討できないか。
- 答 国の補助制度の活用も考えられることから、19年度に耐震改修促進計画を策定する中で研究していきたい。
- 問 国保基金4億円と政策的繰り入れを13年度の額に戻して生まれる2億円を財源として、国保料を世帯当たり1万円引き下げられないか。
- 答 医療費の動向や不測の事態に備え、適正な基金保有が必要となる。また、政策的繰り入れで国保料の抑制等に努めている。
- 問 財政状況を考えれば、鉄道高架も駅橋上化もやるべきでないか。
- 答 駅周辺整備は市の顔として、中心市街地の活性化を図るため必要な事業と認識している。事業費は概算額でなく、もう少しシビアに検討したい。
- 問 公営住宅を300戸増やし、若い子育て世帯も入居できるようにすべきでないか。
- 答 公営住宅ストック総合活用計画の中で将来の住宅需要を見極め、公営住宅のあり方を検討したい。

市民連合議員団 二瓶 雄吉 議員

釧路港の貨物取扱量増大に向け中国へのポートセールスを実施

- 問 釧路港の貨物取扱量を増やす活動を強化すべきでないか。
- 答 継続して道内地場産業や商社等へポートセールスを実施するほか、増加が期待される外貿コンテナの取り扱いに対応した大型クレーンの整備を見込み、19年度は中国へポートセールスを行いたい。
- 問 駅周辺まちづくりのための整備手法や事業費を聞きたい。
- 答 有効な土地利用を図るため、土地区画整理事業導入の可能性等を検討しているほか、市の負担軽減に向け、国や道・JR北海道と協議している。
- 問 今後の集中改革プランの進め方と財源確保策への取り組みを聞きたい。
- 答 各事務事業の見直しに取り組むとともに、アウトソーシングの推進等による定員適正化計画の着実な実行に努めたい。
- 問 観光物産情報センターを設置するため、具体的な目途を立てるべきでないか。
- 答 総合的な観光案内拠点として、駅周辺地区整備の議論も踏まえ検討したい。
- 問 総合計画策定に当たり、均衡あるまちづくりの視点が重要でないか。
- 答 旧3地区において、格差のない行政サービスの提供に努めるとともに、それぞれの魅力を最大限生かした均衡ある発展を目指したい。
- 問 市立病院の経営安定化に向けた取り組みを聞きたい。
- 答 院内に収支改善検討組織を立ち上げるとともに、一般会計からの繰出しによる支援を行い、不良債務の解消を目指したい。



経営の安定化に取り組む市立病院

本 会 議

公明党議員団 高橋 宏政 議員

もづな き こう 毛綱毅曠を紹介する展示 湿原展望台やMOOに設置

- 問 釧路出身の建築家である毛綱毅曠のブランド力を活用して、観光客誘致を図るべきでないか。
- 答 4月にリニューアルオープンする湿原展望台3階やMOO内に展示スペースを設け、毛綱建築を印象づけたい。



毛綱毅曠が設計した湿原展望台

- 問 環境マネジメントシステムISO14001は、更新・維持していくべきでないか。
- 答 職員の環境保全意識や行動も高まり、成果も上がっていることから、外部機関による適合性認証審査は受けないが、19年度中に新たな市独自の環境マネジメントシステムを構築したい。
- 問 釧路の歴史をつくってきた先達の功績を伝えるアイデンティティー教育の推進を研究できないか。
- 答 地域史料室を含め、関係機関が所有する資料の有効活用を研究したい。

- 問 障がい者の雇用やボランティア活動への貢献度合いが一目でわかる、例えば「釧路市ブルーリボン賞」を創設できないか。
- 答 直ちに創設することは難しいが、障がいを持つ方々が住みよさを実感できる地域社会の実現に努めたい。

- 問 魚つき林の植樹構想を策定すべきでないか。
- 答 水産資源増大のためには重要な施策であるが、用地の確保や樹種の選定のほか、管理や費用面などから、研究課題としたい。

- 問 現業職員の退職者不補充や一般職への任用促進で、アウトソーシングを進めるべきでないか。
- 答 アウトソーシング推進指針において、学校給食業務など9項目を重点検討項目に位置づけた。現業職から一般職への登用などを積極的に進めたい。

音 別 会 筈 昌 晴 議員

特別養護老人ホーム 音別地区に20年6月開設へ

- 問 音別地区の特別養護老人ホーム整備計画の現況を聞きたい。
- 答 現在、基本設計や実施設計の策定作業のほか、道に社会福祉法人設立計画書を提出するなど、20年6月の開設に向けた準備を進めている。
- 問 合併処理浄化槽設置のための助成制度を総合計画に位置づけられないか。
- 答 生活排水処理を検討するワーキンググループの中で、地域特性に即した整備手法や事業計画を協議し、助成制度も研究していきたい。
- 問 へき地の医師や看護師確保が厳しいことから、早い時期に音別診療所を市立病院の分院化とする検討ができないか。
- 答 市立病院の医師確保が大前提であり、当面は、相互の円滑な機能連携を図っていきたい。



市立釧路国民健康保険音別診療所

- 問 音別地区における「認定こども園」設置に向けた考え方を聞きたい。
- 答 幼稚園と保育園は一体的な運営が必要であり、一元化を視野に19年度中に整備手法を検討し、20年度着手に取り組みたい。
- 問 釧路市音別町農業振興公社の存続について見解を聞きたい。
- 答 公共牧場の管理や農業機械支援など、地域農業発展への貢献も大きいので、農業者が安心して営農活動できるよう早期に方向性を示したい。
- 問 道外からの進出企業を継続的に訪問し、情報交換することで、雇用拡大が図れないか。
- 答 新製品開発や工場増設計画等を促進するためにも、意見交換や情報収集により緊密度を高め、企業ニーズに迅速に対応していきたい。

(3)

☆ 市議会だより

※ 合併処理浄化槽とは、台所や風呂等の生活雑排水を、し尿とあわせて処理できる浄化槽のこと。
※ 魚つき林とは、水面に木陰をつくったり、流れ込む水の汚濁を防いだり、栄養分豊かな水を供給するなどして、沿岸部や川岸の魚の生育環境を整える森林。

くしろ自民クラブ 上田 徳郎 議員

初期救急医療を担う救急センター
20年度開設に向け医師会と協議

- 問 医師の偏在化により、医師不足を招いている。夜間救急診療体制について見解を聞きたい。
- 答 夜間の初期救急医療を担う救急センターを20年度に開設する方向で、医師会と協議している。
- 問 オーストラリアとの経済連携協定（EPA）について、どう取り組んでいくか。
- 答 釧路農業は酪農畜産が主力で甚大な影響を受ける。関税撤廃反対の立場から、関係機関に対し先頭に立って要請活動を行いたい。
- 問 19年度から配置される栄養教諭の活用方法を聞きたい。
- 答 学校へは家庭科や特別活動、総合的な学習の時間等において、専門性を生かせる年間指導計画の作成を指示している。当面は、近隣校を中心に活用を進めたい。
- 問 駅周辺の整備手法決定後の取り組み期間を聞きたい。
- 答 鉄道高架方式と橋上駅方式のいずれを選択しても、事業認可に3～5年、事業実施には15～20年もの期間が予想される。
- 問 指定ごみ袋の販売を町内会に委託できないか。
- 答 市の収納事務を行うため、取り扱い者として登録することになり、店員が常駐する店舗を有することなどの要件を満たせば可能である。連合町内会との協議を含め、希望があれば対応したい。
- 問 釧路根室圏総合体育館は、スポーツ以外のイベントも開催可能なのか。
- 答 イベントにも活用できる本格的なステージを整備することになっており、3,000～4,000人規模の各種イベントにも対応できる。



20年度完成に向け建設中の釧路根室圏総合体育館

阿寒クラブ 松橋 主幸 議員

合併後の地域特産物
農水一体化で活用

- 問 合併効果を最大限活用して、エゾシカやダチョウなどの農畜産物とクジラなどの水産資源を一体化させた売り込みができないか。
- 答 地産地消活動の中で、両者一体となった取り組みを関係機関と連携し進めたい。



くしろエゾシカまつり（MOO）

- 問 阿寒湖畔中央道路の再整備は、観光インフラ整備の重要な事業と位置づけ、長期計画による整備ができないか。
- 答 温泉街全体の交通システムの改善等を含め、地域住民と議論の場を設けて検討したい。
- 問 阿寒自然休養村は、宿泊施設の改修や野営場の抜本的な見直しが必要でないか。
- 答 中核施設である赤いベレーのリニューアルを視野に、その他の施設は役割や将来性を見据えながら、今後のあり方を検討したい。
- 問 新総合計画における阿寒地域の振興活性化策について、基本的な考え方を聞きたい。
- 答 地域特性を生かした新たな魅力の創造や、企業誘致促進等の取り組みを進めていくことが、地域産業の振興に重要と認識している。
- 問 行政センター独自の判断で執行できる政策予算を配当できないか。
- 答 行政センターでも予備費を使うなど、柔軟な対応ができるよう検討したい。
- 問 道内で成功事例のある自動車関連の部品製造業の誘致に力点を置き、企業誘致対策を行うべきでないか。
- 答 現時点ではなかなか難しい。まずは地元の製造企業や物流関連企業と連携し、用地や輸送コスト、資材調達等について調査したい。

本 会 議

自由新政クラブ 戸田 悟 議員

水産業の新たな経営安定対策 国が20年度導入を検討

- 問 水産業の経営安定対策として、国と生産者による基金積立方式の制度の実現が必要でないか。
- 答 国では水産基本計画見直しの中で、20年度導入を目指し、漁業共済制度を活用した新たな経営安定対策を検討しており、注視していきたい。
- 問 奨学金貸与額の減額は見直すべきでないか。
- 答 財政健全化に向け「聖域なき見直し」が求められている。制度を維持していくために苦渋の決断をしたが、道内他市と比較して一定水準は保った。
- 問 商店街の振興策として、包装紙の釧路ブランド化や店舗名、商品を紹介するしおりを活用し、観光情報を提供してはどうか。
- 答 商工会議所や商店街振興組合等に提案するほか、商店街パワーアップ事業を適用するなどの支援をしたい。
- 問 駅周辺整備手法の判断時期について、3月か4月に方向性を示す考えに変わりはないか。
- 答 権利関係者であるJR北海道と協議を重ねてきたが、さらに事業費等の精査の必要性が確認されたため、検討時間を要する。



整備手法が注目される釧路駅周辺

- 問 医師不足が顕在化しているが、釧路全体での協力体制が必要でないか。
- 答 釧路管内二次救急連絡会議が、医療全般を協議する場になるよう働きかけ、根室管内も含めた三次医療圏での協力体制をつくりたい。
- 問 市の厳しい財政状況を詳しくわかりやすい形で情報公開し、市民理解を求めることが必要でないか。
- 答 広報くしろやホームページの活用を含め、さらにわかりやすく、積極的な公開に努めていきたい。

市政クラブ 宮下 健吉 議員

釧路根室圏総合体育館 利用者に配慮した料金設定へ

- 問 20年度完成予定の新総合体育館の管理運営や使用料を聞きたい。
- 答 指定管理者制度の運用も視野に入れた管理運営を検討したい。使用料の設定は、利用する団体等が大きな負担とならないよう努めたい。
- 問 新総合体育館完成後に厚生年金体育館が解体されることだが、跡地利用として小規模な屋内体育施設が必要でないか。
- 答 市全体の公園施設整備計画を踏まえ、軽スポーツなどに利用できる施設を検討したい。



解体予定の厚生年金体育館

- 問 公共施設は適切な維持管理で耐用年数も向上するため、計画的な修繕が必要でないか。
- 答 施設の状態に応じた効果的な修繕に努めるとともに、釧路市耐震改修促進計画の策定などに合わせた修繕も検討したい。
- 問 釧路船籍の沖底船は、マダラを魚価の高い他港へ水揚げする状況が増えている。地元船の水揚げ確保に向けた対策が必要でないか。
- 答 行政が市場に介入することは出来ないが、流通・加工関係者一丸となった対応が重要と考える。
- 問 副港地区の鉄屑ヤードは、水揚げ等に影響を与えている。西港区を含めて移転を考えてはどうか。
- 答 関係者の意向など課題もあるが、周辺に与える影響などから、移転の可能性を探っていきたい。
- 問 釧路町とは同一経済圏でもあり、図書館や火葬場等の維持管理費、使用料等の負担割合については、首長同士の話し合いが必要でないか。
- 答 両市町が抱える課題や問題点は、首長同士の交流を進める中で率直に意見交換しながら、さらなる信頼関係を築いていきたい。

本 会

議 議

質 疑

一 般 質 問

3月8～12日

質 問 者 13人

(6)

へ自新ク 花井紀明 議員

園 子育て支援センターを、
コミセンや学校の空き教室等
を活用して拡充できないか。

答 親子つどいの広場などを
開設しているほか、4月開設
の釧路風の子保育園にも同セ
ンターを開設予定である。コ
ミセン利用もニーズの把握に
努め、地域バランスや運営方
法など幅広く研究したい。



昭和中央児童センターに開設されているつどいの広場

へ公明 吾妻 巖 議員

園 国の補助採択要件のハー
ドルが高くなり、早期の整備
は難しいが、今後とも道のア
ドバイスを受けながら、補助
による事業化を目指し努力し

たい。

へ音別会 杉山範雄 議員

園 音別地区の市有林は、皆
伐作業も視野に入れ森林の新
陳代謝を図るべきでないか。

答 伐採時期を迎えている市
有林は、木材需要にも配慮し
ながら、施業計画に基づき整
備していきたい。

へくしろ 菅野 猛 議員

園 合併で厚みを増した農・
林産業の将来を見据えたまち
づくりの見解を聞きたい。

答 一次産業は地域の基幹産
業であり、観光などの他産業
にとっても欠かせないもので
ある。産業が振興し、働く人
が誇りを持って暮らせる地域
づくりを進めたい。

へ市民連 宮田 団 議員

園 市教委では、障がい者の
法定雇用率が達成されてい
ないのではないか。

答 市役所全体での法定雇用
率は達成しているが、引き続
き、計画的に採用を続けたい。

へ市政ク 淀川了一 議員

園 賑わい創出を図るため、
東港区の再開発構想を聞きた
い。

答 耐震旅客船岸壁以西の未
着手地区の整備は、耐震岸壁



再開発が期待される東港区

供用後の土地利用や西港区へ
の貨物シフトなど、当地区を
取り巻く状況や財政事情等を
踏まえ検討したい。

へ阿寒ク 吉田守人 議員

園 18年度に行った阿寒本町
市街地の定住促進に向けた具
体的な取り組みを聞きたい。

答 阿寒地域住宅づくり検討
会では、14項目の指針を策定
して検討を行っており、3月
中に最終的な提言をまとめる
予定となっている。

へ共産党 大森昌子 議員

園 合併後、消防職員1人当
たりの面積割合が増えたが、
消防力に不安はないか。

答 消防力の算定は人口によ
る街区形成区分と建ぺい率で
行うが、充足率は93%であり、

ほぼ満たされている。

へ市民連 酒巻勝美 議員

園 長年の懸案である市役所
総合窓口開設への取り組みと、
実施時期の見通しを聞きたい。

答 庁内に設置したワンスト
ップ行政サービス検討プロジ
ェクトチームで、実現可能な
手法や課題を取りまとめ、20
年4月の開設を目指したい。

へ阿寒ク 長村武祠 議員

園 当市の場合、18年度決算
で約90億円を超える赤字が出
ると財政再建団体の対象とな
る。回避の方策を聞きたい。

答 まずは集中改革プランの
残り20億円の達成を最優先に
取り組む。22年度までに同プ
ランの完全実施に努め、財政
健全化を図りたい。

へ共産党 石川明美 議員

園 福祉など専門職の嘱託職
員の雇用期間は10年を限度と
しているが、再考すべきでな
いか。

答 非常勤特別職としての身
分上の問題のほか、雇用機会
の公平性確保や職場の新陳代
謝による業務効率化にも配慮
すべきで、見直しは難しい。

へ共産党 鈴木義澄 議員

園 防災対策としての海光団

地建替事業の計画変更は、早
期入居を求める住民の期待を
無視したものでないか。



早期建替が期待されている海光公営住宅

答 50年周期で発生するとさ
れる津波を想定し、住民の安
全を第一に考えたものだが、
住宅も老朽化しており、事業
の早期完成を目指したい。

へ市民連 佐藤勝秋 議員

園 橋南東部地域のまちづく
りに関し、益浦地区への大型
店出店についてどう考えるか。

答 地域の賑わい創出には、
ある程度の生活利便施設が必
要と考える。地権者から具体
的な土地利用計画が示された
後、周辺環境と調和した土地
利用が図られるよう、用途地
域の変更も含め検討したい。

3月12〜20日

総務文教常任委員会

阿寒町運動公園の使用料改定
旧釧路市の算定基準で補助

阿寒町総合運動公園の使用料等の改定について、少年団等が施設を使用する際には、補助するなどの配慮が必要でないか質問がありました。

理事者は、合併後これまで、旧自治体の使用料等を継続してきたが、合併協定や集中改革プランに基づき新年度からの改定となった。使用料等の増額は、補助金等が旧釧路市の算定基準により新たに交付されるため、当面各団体への影響は少ないと認識しているが、今後の料金のあり方につ



使用料等が改定される阿寒町総合運動公園

民生福祉常任委員会

いて、他施設との整合性も考慮し検討したいと答えました。

公立の拠点園を設置する中で子育て支援・指導体制を検討
保育の質を高めるために指導等に当たる専門職をこども保健部に配置できないか質問がありました。

市長は、幼児期は人間形成を培う重要な時期であり、保育園の果たすべき役割は一層高まっていると認識している。保育士の資質や専門性の向上は重要であることから、研修機会の確保に努めるとともに、市内の東部・中部・西部の3地域に子育て支援機能を持った公立の拠点園を設置する中で、支援・指導体制を考えていきたいと答えました。

財政経済常任委員会

リフレの利用促進対策として利用者との意見交換を検討

山花温泉リフレは、オープン後10年が経過し、その間社会情勢も変化してきている。入湯料の見直しや、収益性の観点からパークゴルフ場の整備等を検討すべきでないか質問

間がありました。
市長並びに理事者は、パークゴルフ場については、整備に多額の経費がかかることや近隣施設と競合するため、現段階では難しいと考えている。今後、指定管理者の(株)釧路振興公社と入湯料金を含めた協議をしていくほか、利用者との意見交換の場を設け、利用促進に向けた検討を進めたいと答えました。



利用促進対策が求められた山花温泉リフレ

石炭対策特別委員会

産炭国石炭産業高度化事業
インド研修生は選炭技術から
産炭国石炭産業高度化事業
におけるクリーンコールテク
ノロジー事業で、研修対象国

に予定されるインド研修生の
研修期間や内容について質問
がありました。

理事者は、当面は石炭を製品化する選炭技術の研修から始まると思われるが、インドの石炭は選炭が難しく高度な技術を要するため、技術移転には一定程度の期間が必要と考えられる。研修内容は国等で調査中だが、選炭から採出炭保安の技術まで広がることを期待していると答えました。

建設常任委員会

動物園の今後の方向性
教育委員会において検討

動物園の今後のあるべき姿
について、市独自の基本構想
を定めるべきでないか質問が
ありました。

理事者は、これまでは11年に取りまとめられた「動物園のあり方についての報告書」をもとに運営してきたが、近年、動物園を取り巻く社会環境が大きく変わってきたことから、今後の役割や経営戦略、施設整備などの方向性を定める必要性は認識している。教育行政との調整やツル関連業務一元化の問題もあり、組織

の移行を予定している教育委
員会で検討していきたいと答
えました。



教育委員会へ業務が移行される動物園

廃棄物処理対策特別委員会

一層のごみ減量を目指し
生ごみの分別収集を検討

ごみ処理手数料有料化後、
ごみ減量に対する市民の意識
が高まっているが、今後は生
ごみの減量とさらなる分別の
徹底が課題になるのではない
か質問がありました。

理事者は、19年度からは家
庭系生ごみ減容化モデル事業
の拡大や、生ごみの分別収集
を検討し、生ごみの減量と分
別について周知していきたい
と答えました。

平成19年第1回2月定例会審議結果		○賛成 ×反対 △継続（審議未了）								
件名	審議結果	審議結果								
		市民連合議員団(6)	自由新政クラブ(5)	くしろ自民クラブ(6)	市政クラブ(5)	公明党議員団(5)	日本共産党議員団(4)	阿寒クラブ(11)	音別会(8)	
市長提出議案										
予算	19年度予算 国民健康保険音別診療所事業特別会計(348,500千円)／音別歯科診療所事業特別会計(51,800千円)／動物園事業特別会計(320,144千円)／水道事業会計／工業用水道事業会計／公設地方卸売市場事業会計／市設魚揚場事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	一般会計(96,500,000千円)／国民健康保険特別会計(21,274,271千円)／老人保健特別会計(17,233,176千円)／介護保険特別会計(9,753,599千円)／駐車場事業特別会計(183,164千円)／病院事業会計／下水道事業会計／港湾整備事業会計	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
18年度補正予算	国民健康保険特別会計(46,844千円、総額20,671,981千円)／国民健康保険音別診療所事業特別会計(△21,728千円、総額336,272千円)／介護保険特別会計(2,842千円、総額9,228,781千円)／病院事業会計／水道事業会計／下水道事業会計／公設地方卸売市場事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	一般会計(1,124,394千円、総額117,471,100千円)／一般会計(33,000千円、総額117,504,100千円／2月27日追加提出分)／国民健康保険特別会計(4,500千円、総額20,676,481千円／2月27日追加提出分)	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
条例	制定条例 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例／特別職の職員の給与に関する条例の特則に関する条例／学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例／市民意見提出手続条例／音別町コミュニティセンター条例／湿原関連施設共通使用料条例／景観条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	阿寒町スポーツ振興助成条例及び音別町スポーツ振興助成条例を廃止する条例／阿寒町文化振興助成条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
	一部改正条例 事務分掌条例等／名誉市民条例／特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例／消費生活を守る条例／国民健康保険条例／療育センター条例／廃棄物の減量及び処理等に関する条例／自動車放置防止条例／墓地条例／病院事業の設置等に関する条例及び市立釧路国民健康保険音別診療所条例／釧路フィッシャーマンズクラブ条例／国設阿寒湖畔スキー場条例／牧場条例／市設魚揚場使用条例／手数料条例／建築基準法施行条例／道路占用料条例／普通河川管理条例／河川流水占用料等徴収条例／公営企業の設定等に関する条例等／水道事業給水条例／阿寒町語学指導外国青年招致に関する条例／こども遊学館条例／消防団に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	職員定数条例／職員の給与に関する条例／職員退職手当支給条例／活力創生釧路市集中改革プランによる使用料、手数料等の見直しに伴う関係条例／地区会館条例／市民活動センター条例／精神障害者入院医療費助成条例／保育に関する条例／市立高等看護学院条例の一部を改正する条例／阿寒町社会福祉センター条例／中小企業振興条例／湿原展望台条例／奨学金貸与条例／市立幼稚園保育料等徴収条例／鶴ヶ岱武道館条例／阿寒湖畔スポーツ広場条例／阿寒町総合運動公園条例	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
財産	土地取得 大楽毛6-1の一部ほか、39,873.50平方メートル(普通河川大楽毛小川河川改修事業に伴う河川用地、65,621,977円)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人事	人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件(津田鉄子氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	選任 副市長(上原文和氏)／教育委員会委員(林正昭氏)／監査委員(藤田正一氏)	○	○	○	○	○	×	○	○	同意
その他	規約の変更に関する協議の件(釧路公立大学事務組合／釧路広域市町村圏事務組合／釧路白糠工業用水道企業団／釧路広域連合)／和解成立の件	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
専決処分	18年度補正予算 一般会計(道路除雪費等／100,000千円)	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
報告	物損事故損害賠償額の決定等	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議員提出議案										
条例	一部改正条例 市議会委員会条例／市議会における各党派等に対する政務調査費の交付に関する条例／市議会事務局設置条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
規則	一部改正 市議会会議規則	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
決議	2008年主要国首脳会議(サミット)の北海道開催に関する決議	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
意見書	医師不足を解消し、安心できる地域医療体制の確保を求める意見書／酪農畜産政策・価格に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情	若草地区会館改築に伴う予算措置に関する件／「釧路文学館」の設置に関する件	△	△	△	△	△	△	△	△	審議未了
議会に報告されたもの										
市長提出	平成18年事務報告書提出の件／釧路市国民保護計画報告の件／専決処分報告4件(交通事故損害賠償額の決定等1件／物損事故損害賠償額の決定等3件)									完了
監査委員提出	監査報告書／例月現金出納検査報告書(10～12月分)									完了



議長 草島守之



副議長 上口智也

正副議長あいさつ

私たちは、平成17年10月、新生釧路市の初代議長・副議長に就任以来、議会運営のルール確立に努め、この間、合併後の諸課題を市民の目線で真剣に議論をしましてまいりました。在任中、大過なく職責を

果たせましたことは、皆様のご支援のたまものであります。地方分権改革の推進に伴い、議会の果たすべき役割と議員の責務が一層重要となっており、政策形成機能の充実やチエック機能の強化が強く求め

られております。改選後の新議会においても、心一つにして議会改革に取り組む、市民にとってより身近に感じられる市議会となることを祈念申し上げ、挨拶いたします。

議員 辞職 を 許可

松永俊雄議員から2月28日付の辞職願が提出され、議長はこれを許可しました。

議会広報特別委員会から

任期最後の議会だよりとなりました。正確に意を伝えられない面もありましたが、皆様のご愛読に感謝いたします。



議会広報特別委員会

- ◎土岐政人 ◎鶴間秀典
- ◎逢坂和子 ◎黒木 満
- ◎石川明美 ◎宮田 団
- (◎)委員長 (○)副委員長
- ◎畑中優周
- ◎細野 勝